

登戸学寮ニュース

公益財団法人 登戸学寮
〒214-0032
神奈川県川崎市
多摩区枡形 6-6-1
発行人 福島 穆

理事長随想

——登戸学寮創立六〇周年を前にして

ふくしま あつし
福島 穆



入寮時の学寮アルバムより

登戸学寮の創立者、黒崎幸吉先生は、一九二二年から一九二五年にかけて欧州に留学された。ドイツ、スイス、英国などで学ばれ、当時の一流の先生方の講義を聴き、各地を旅行された。

この留学中、先生は後世に

残す一大経験をされたのであった。一九二四年の冬、バーミンガム近くのセリオーク・カレッジ (Selly Oak College) での滞在がそれであった。先生の『恩恵の回顧』から引用する。

「このセリオーク・カレッジは男子の宿舍と女子の宿舍がちよっと離れて建っており双方で百余名の生徒が寄宿しており、大部分は外国人であった。学校は教室が二つ三つと



開寮式後の記念写真

※ 目次 ※

- 理事長随想
——登戸学寮創立六〇周年を前にして 福島 穆…………… 1
- 寮長就任に当たって 寮長 山吉裕子…………… 2
- 寮の行事紹介…………… 3
- 聖書のごとば『ヨナ書』…………… 4
- 理事会・評議員会報告…………… 6
- コラム 俳句鑑賞の手引き(2) 俳人(学寮員) 岸本尚毅…………… 8
- 寮友会より…………… 9
- 私たちは同県人です
同期生消息…………… 10
- 卒寮生アンケート集計結果報告…………… 10
- ご案内…………… 12

図書館があるだけで授業は至って少なく、主として学生を寄宿させてその信仰的国際主義の教養を与えるのを主としているという変わった学校であった。講師も近所のバーミンガム大学の教授が出張してときどき講義があるだけで

あった。

この学寮における先生の滞在経験が後になって登戸学寮設立の原型となったのであった。黒崎先生の描いた夢の現にはその後、実に三四年を要した。登戸学寮は開寮式を

一九五八年五月二五日に行つた。

二〇一八年には創立六〇周年を迎える。先生が学寮の構想を描いてより更に倍に近い時間が流れ、その間六百名を越える卒業生を輩出してきた。誰が掛かる長きにわたって学寮が存続することを想定したであろうか？ 勿論、学寮の歩みは順調だったわけではなく、多くの困難があつたが、その都度解決が与えられて存続が許された。

そして本年も新寮長が与えられ、新入寮生の応募がありその存在を可能にしてくれている。当たり前のように継続しているが、その間、寮の運営にあたった創立者黒崎幸吉の尽力はもちろん、歴代の寮長、職員、賄の方々、そして学寮に思いを寄せて毎年ご寄付をしてくださった実に多くの方々のご支援で学寮は支えられてきた。

大学が就職のための機関としての教育を盛んにするだけ、登戸学寮における聖書の学びによる人間形成は益々その意義を増してくる。卒業生が「地の塩」としての働きをしていくことを期待して上からの導きで学寮運営を継続したいと念じている。

と念じている。

近々、創立六〇周年記念事業を開始する。お一人でも多くの方が本事業に賛同し、寄付をお寄せくださることを願って止まない。



2017年度入寮式後の記念写真

寮長就任に当たって

寮長 山吉 裕子

やまよし ひろこ



私は、これまで長きにわたって日本およびドイツの大学で学ぶ機会に恵まれました。登戸学寮の寮長として、そこで培った知識や経験を自分一人の中で完結させてしまうのではなく、周囲の人、とりわけ次世代を担う若者に伝えたいと思います。

私自身、ハイデルベルクでは、バーデン州教会が母体である Theologisches Studienhaus Hei-

delberg、ハイデルベルク大学が母体である Ökumenisches Wohnheim für Studierende という、キリスト教理念に基づいた二つの寮で過ごし、後者では運営委員会にも携わりました。その中で個々人の生活は尊重しながらも、匿名にただ隣り合つて住むのではなく、共に生活するという経験が、生涯にわたってどれほど大きな意味を持つかを身をもって学びました。

これまでではそのような素晴らしい環境を与えられる側でしたが、これからはこれまでの聖書の学びと経験を活かし、寮生が安心して生活でき、よき出会いと学びの場をつくり

出すことができるよう尽力したいと思います。

明るい未来が見えず、慢性的な不安が広がる中、これからの世界はますます他者との連帯が求められるようになります。活躍の場を日本国内に求めるにせよ、国外に求めるにせよ、世界で起っている出来事と無関係に生きてはいられません。

長期間ドイツという国で自身が少数派の「外国人」として暮らしたこと、様々な国から来た友人を得たことは、私自身のみならず、寮生の視野をも広げることができると思います。そして何より世界の古典である聖書に学び、どのように生きるべきかを自分で考えることのできる人間となる過程を、寮生と共に歩んでいければと考えています。

寮の行事紹介

◆ホームカミングデー

去る一月二六日、登戸学寮にてホームカミングデーが開催されました。一期生から現寮生まで三五名のOB・OGが参加し、楽しいひと時を過ごしました。

ホームカミングデー前半は「寮生活動支援報告会」で、醸造研究のために京都の酒蔵を訪問した鈴木源さんが成果を報告しました。後半は若手OBが準備した企画が二つ。メイン企画「登戸学寮大博覧会」では、浅野攝郎さん（1959年入寮）、白石光一さん（1978年入寮）、井上和駿さん（2008年入寮）、佐々木望さん（寮生）の四名に当時の思い出や寮の様子などをお話いただきました。グループ対抗戦の「登戸学寮雑学クイズ」では五五年前に寮に



現れた犬の名前などマニアックな問題に盛り上がりました。その他、開寮当時の寮の様子分かる写真や「女子寮一年目の様子」、「いかだレースはこうして始まった」などの展示も行われました。

参加者からは、「世代を超えた交流ができてよかった」、「大変楽しかった」といった声が寄せられました。ホームカミングデーを機にOB・OG・寮生の交流の輪が広がっていくことを願います。

(理事 織田千尋)

◆クリスマス会

一月一八日(日)、一足早いクリスマス会を開催しました。今年のメインイベントはバンド演奏会。

NirvanaのSmells Like Teen Spiritで幕を開け、スピッツのチェリー、「涼宮ハルヒ」のGod knows...、[Alexandros]のワタリドリを次々と披露。アンコールには、ギタリストのNさんによるMr. BigのTo Be With You弾き語りと盛り沢山



でした。
四月からアコギを始めて、半年以上毎日のようにコツコツと練習し続けてきたFさんも、温かい聴衆の前で成果を披露することができました。

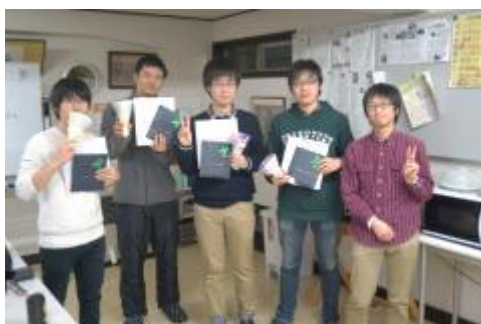


◆卒業式

一月一五日(日)には、卒業式を執り行いました。一足先に巣立っていたかつての寮生たちも、この日はお祝いに駆けつけてくれました。

皆で食卓を囲みつつ、和やかな雰囲気の中で、卒業生が一人ずつ、この寮で過ごしてきた感じたこと、これからの抱負、後輩たちに伝えたいことを語ってくれました。

(山吉智久)



聖書のよび

『ヨナ書』

大小三九の文書からなる旧

約聖書は「律法」「預言者」、

「諸書」という三つの部分に分

かれ、その内の「預言者」は更

に、「前の預言者」と「後の預言

者」の二つに分かれます。

「後の預言者」には、古代イス

ラエルに生き、神の言葉を民に

宣べ伝えた預言者たちの言動

が収められており、各々の文

書は、個々の預言者の名を冠

して呼ばれています。『イザヤ

書』『エレミヤ書』『エゼキエル

書』の三大預言書と、『ホセア

書』から『マラキ書』までの十二

小預言書がそれです。

今回ご紹介する『ヨナ書』は、

十二小預言書の一つに数え入

れられる短い文書ですが、一

連の預言書の中でも、ひととき

わ異彩を放っています。



時は強大国アッシリアが世界

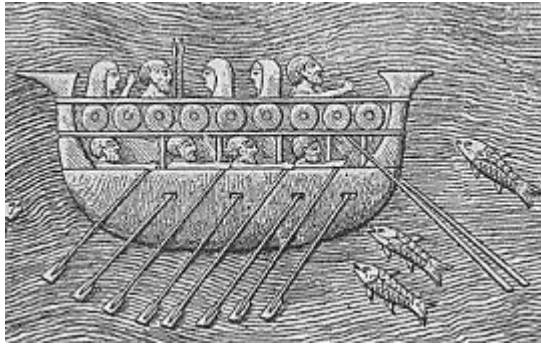
を支配していた時代、アミタ

イの子ヨナに神の言葉が臨み

ます。

「さあ、大いなる都ニネベに行

つて呼びかけよ。彼らの悪は私



の前に届いている」。

しかしヨナはこの命令に逆ら

い、神から逃れようとしています。

ヤッファに下ると、折よくタル

シシュ行きの船が見つかり、彼

はこれに乗り込みます。

すると神は大風を海に向か

つて放ち、海は大荒れとなり

ました。船乗りたちは恐怖に

震えてそれぞれの神に助けを

求め、積荷を捨てて少しでも

船を軽くしようとしています。し

かしヨナは船底で寝込んでい

ました。

↑フェニキアの船

カルメル山とガザの中間に

位置する地中海沿いの町ヤ

ッファには、ペリシテ海岸で

唯一の港があり、ヨナはこの

港からタルシシュに向けて

船出したという。このタルシ

シュがどこなのかは分から

ない。一部の学者はスペイン

のタルテッソスがそれであ

ると考えている。



『魚の口を出るヨナ』

ヤン・ブリューゲル (Jan Brueghel)

1557年

アルテ・ピナコテーク (ミュンヘン) 蔵

船長はヨナを起し、彼も神

に助けを求めるよう命じまし

た。人々は籤を引いて、誰のせ

いでこの災難が降りかかったか、

はつきりさせようとしています。

籤を引くと、ヨナに当たり、

人々はヨナに詰め寄ります。

「お前は何者だ。どこから来

て、どこに行くのか」。

ヨナが神の前から逃げてきた

旨を告げると、人々は言いま

す。

「なんといいことをしたのだ。

お前をどうしたら海が静まる

だろうか」。

自分を海に放り込めば海は

穏やかになるとのヨナの言葉

通りに人々が行うと、海は静

まりました。

ヨナは巨大な魚に飲み込ま

れ、三日三晩その腹中で過ご

します。

彼が魚の腹の中で神に祈ると、

神はこれに答えて魚に命じ、

彼を陸に吐き出させました。

ヨナがニネベに行って悔い改め

を宣教すると、町の人々は悔い改め、王もまたそれにならうために、神は裁きの言葉を取り消します。しかしヨナにとつてこのことは大いなる不満でした。彼は怒つて神に訴えます。

「あなたは忍耐深く、災いを下そうとしても思い直される方です。私の命を取ってください。生きているよりも死ぬ方がましです」。

神はヨナに問いかけます。

「お前は怒るが、それは正しいことか」。

ヨナは都を出ると、東の方に座り込みます。ヨナの訴えに対し、神がどのように応じるか、都に何が起こるのかを見届けようとしたのです。

すると神はヨナの苦痛を和らげるため、とうごまの木に芽を出させ、それは成長してヨナよりも丈が高くなり、彼の頭の上に影を作りました。ヨナはそれを大いに喜びます。

ところが翌日の明け方、神は虫に命じて、とうごまの木を食い荒らさせ、木は枯れてしまいました。日が昇ると、神は焼き付けるような東風を吹きつけさせ、太陽もヨナの頭上で照りつけたために、ヨナはぐったりとして言いました。

「生きているよりも死ぬ方が



「とうごまの木」

ヨナの上に伸びて日陰を作り、ヨナを喜ばせたとすると、虫に喰われてあつという間に枯れてしまったという木。この植物は成長が非常に早く、一二年で樹木のようになる。

ましです」。

この言葉に対し、神は最後にヨナに次のように語つて物語は幕を下ろします。

「お前はとうごまの木のことであるが、それは正しいことか。お前は自分で労することも育てることもなく、一夜にして生じ、一夜にして滅びたこのとうごまの木さえ惜しんでいる。ならばどうしてわたしが大いなる都ニネベを惜しまずにいられよう。そこには十二万人以上の人間と無数の家畜がいるのだから」。



わずか四章からなるこの文書は、他の預言書とは異なり、一つの物語文学となっています。預言者ヨナの名は、『列王記下』一四章25節に現れ、北王国の王ヤロブアム二世(前七八七―七四七年)の時代に、王国の繁栄を約束した彼の言葉が実現

したと記されています。『ヨナ書』の著者は、列王記に現れるこの人物を主人公にして、このような物語を作り上げたと思われまます。

ニネベは、北王国を滅亡に陥れた(前七二二年)アッシリア帝国の最後の盛期を見届けた首都です。センナケリブ、エサルハドン、アッシルバニパルなどの名だたる王たちが、この地に宮殿を築きました。とりわけアッシルバニパル王は、この町に巨大な図書館を建設し、『ギルガメシュ叙事詩』『エヌマ・エリシュ』など数多くの粘土板文書を集めさせました。

イスラエルの民にとつてニネベは、暴虐の限りを尽くし、北王国を歴史の闇に葬つた災いの象徴でありました。

「自分」にとつて災いの象徴であるニネベが、他ならぬ「自分」の行動をきっかけにして悔い改め、災いから免れるという事態が、ヨナにとつて怒りの種と

なつたことは想像に難くありません。「生きているよりも死ぬ方がましです」(四三)という彼の言葉は、この感情を端的に表しています。とうごまの木が一夜にして虫に喰い尽くされたときにも、怒つたヨナはこれと同じ言葉を繰り返します(四八)。

「お前は怒るが、それは正しいことか」(四四、九)。そんなヨナに対し、神はいずれもこのように問いかけます。この言葉によつて、人は自己の内に渦巻く負の感情を思い直させられます。

全世界のあらゆる境遇に配慮する普遍の神に対する信仰の神髄は、自己のみに固執する偏狭な排他主義を脱し、「自分」や「自国」だけでなく、「他者」や「他国」に対する配慮を失わないことにあります。

(山吉智久)

理事会・評議員会報告

1. 理事会、評議員会の開催

公益財団法人登戸学寮の臨時理事会は二〇一六年一月二六日に、定例理事会と評議員会は二〇一七年三月一八日(土)に登戸学寮で開催されました。以下にその議事内容について報告します。

2. 二〇一七年度事業計画、予算

三月の理事会(及びその後のみなし評議員会)で、別表(収支計算書)の通り新年度予算が承認されました。収入面では、入寮者を八名、在寮生を年平均二八名と想定し、収入総額は、

対前年比五二五万円減の二五六一万円、支出面では、可能な限りの節減努力を行うこととし、二三三六万円(前年対比一

〇五万円減)を計上しています。寄附金収入については、新年度から六〇周年記念事業の募金を開始することに伴い、一般寄附を前年度二五〇万円から二〇〇万円減額して、五〇万円と見込んでおります。支出におきましては、ほぼ前年並としておりますが、投資活動支出とし

て、例年通り、建物再建積立資産取得支出三七〇万円を計上するとともに、前年度から設置場所等の問題で先送りになっていた「女子寮洗濯物干し施設」について、最大二〇〇万円まで見込んで計上しております。なお、新年度は、男子、女子ともに、空き室があります(計八室)

ので、新入寮生のご紹介等につき、皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

3. 六〇周年記念事業

六〇周年記念事業につきましては、臨時理事会と定例理事

平成29年度予算案(収支ベース)

科目	28年度実績予測額		29年度予算案	
	(A)	(B)	(A)	(B)
法人名:公益財団法人 登戸学寮 2017. 3. 19				
事業名:事業全体 (単位:円)				
I 事業活動収支の部	28年度予算額	28年度実績予測額	29年度予算案	(A)と(B)の差異
事業活動収入				
基本財産運用収入	5,000	5,000	5,000	0
基本財産受取利息収入	5,000	5,000	5,000	0
入寮費収入	1,350,000	1,200,000	1,200,000	-150,000
寮費収入	26,700,000	23,014,000	23,850,000	-2,850,000
寮費収入(室料)	22,400,000	19,000,000	19,600,000	-2,800,000
寮費収入(食事代)	3,500,000	3,400,000	3,500,000	0
共益費等寮生徴収金	800,000	600,000	750,000	-50,000
短期宿泊料収入	0	14,000	0	0
寄付金収入	2,500,000	3,500,000	500,000	-2,000,000
雑収入	205,000	70,000	55,000	-150,000
受取利息収入	5,000	20,000	5,000	0
雑収入	200,000	50,000	50,000	-150,000
事業活動収入計	30,780,000	27,789,000	25,610,000	-5,150,000
事業活動支出				
人件費	8,300,000	7,400,000	8,300,000	0
福利厚生費	700,000	700,000	700,000	0
賄材料費	3,100,000	2,400,000	3,100,000	0
役員会開催諸費	500,000	500,000	500,000	0
会議費	10,000	10,000	10,000	0
パート交通費	100,000	80,000	100,000	0
寮生福利厚生費	50,000	75,000	50,000	0
寮生活動支援費	50,000	100,000	50,000	0
寮生指導費	50,000	0	50,000	0
国際交流費	400,000	300,000	400,000	0
旅費交通費	90,000	20,000	50,000	-40,000
車両費	30,000	0	30,000	0
通信運搬費	600,000	1,500,000	600,000	0
消耗品費(厨房関連)	100,000	90,000	100,000	0
消耗品費(厨房以外)	100,000	90,000	100,000	0
事務用品費	200,000	110,000	200,000	0
消耗什器備品費	0	650,000	700,000	700,000
修繕費	1,500,000	500,000	500,000	-1,000,000
印刷製本費	60,000	90,000	90,000	30,000
方冊刊行費	240,000	300,000	300,000	60,000
講演会等諸雑費	120,000	60,000	120,000	0
電気代	1,500,000	1,200,000	1,500,000	0
ガス代	1,150,000	800,000	1,150,000	0
水道代	550,000	550,000	550,000	0
灯油代	50,000	50,000	50,000	0
諸謝費	300,000	0	200,000	-100,000
広報費	1,000,000	500,000	800,000	-200,000
図書費	90,000	40,000	90,000	0
防災費	300,000	250,000	300,000	0
支払報酬料	600,000	600,000	600,000	0
災害保険料	400,000	400,000	400,000	0
租税公課	350,000	350,000	350,000	0
新聞図書費	50,000	50,000	50,000	0
諸会費	70,000	70,000	70,000	0
支払手数料	150,000	230,000	250,000	100,000
リース料	250,000	250,000	250,000	0
雑費	1,300,000	600,000	700,000	-600,000
事業活動支出計	24,410,000	20,915,000	23,360,000	-1,050,000
事業活動収支差額	6,350,000	6,874,000	2,250,000	-4,100,000
II 投資活動収支の部				
投資活動収入	0	0	0	0
投資活動支出	4,100,000	5,846,000	4,900,000	800,000
特定資産取得支出	3,700,000	3,700,000	3,700,000	0
建物再建特定積立資産取得支出	3,700,000	3,700,000	3,700,000	0
固定資産取得支出	400,000	2,146,000	1,200,000	800,000
建物取得支出	0	2,146,000	0	0
建物付属設備取得支出	0	0	1,000,000	1,000,000
什器備品取得支出	400,000	0	200,000	-200,000
投資活動収支差額	-4,100,000	-5,846,000	-4,900,000	-800,000
当期収支差額	2,250,000	1,028,000	-2,850,000	-4,900,000
前期繰越収支差額	7,556,767	7,556,767	7,556,767	
次期繰越収支差額	9,806,767	8,584,767	4,906,767	-4,900,000

会の議決を経て、本コース別報のとおり新年度から開始することとなりました。

4. 特記事項

(1) 税額控除に係わる証明書の更新

登戸学寮の税額控除に係わる証明書が更新され、新しい有効期間は平成二八年一〇月一日から平成三三年九月三〇日までとなりました。申請許可条件として、①過去五年間の年平均寄付者数と②年平均寄附金額について所定の基準を満足することが求められておりましたが、これら条件を大幅に超えて申請をすることが出来ました。今回基準に対して余裕を持った申請ができましたことは、寮関係者の幅広いご支援の賜物と厚く御礼を申し上げます。

(2) 現寮長の退任、新寮長の就任

現寮長の山吉智久氏は北星学園大学准教授に就任され本年三月末で退任し、新しい寮長として山吉裕子氏が就任されることが定例理事会で承認されました。

(3) 黒崎幸吉記念講演会

今年の黒崎幸吉記念講演会は下記の通り開催されることとなりました。

【日時】

二〇一七年六月四日(日)

午後二―四時

【場所】

今井館聖書講堂

東京都目黒区中根一―一四九

【講師】

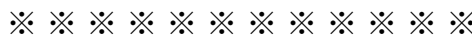
山吉智久(北星学園大学准教授)

佐々木望(専修大学三年)

上林 聖(早稲田大学二年)

中西正寛(東京大学三年)

(理事 小島拓人・小西孝蔵)



コラム 俳句鑑賞の手引き(2)

俳人(学寮OB) 岸本 尚毅

芭蕉の「古池や蛙飛び込む水の音」は、五・七・五の十七音から成っています。

品詞に分解すると、名詞は「古池」「蛙」「水」「音」の四個。動詞は「飛び込む」だけ。あとは「や」と「の」だけです。

憲法の「学問の自由はこれを保証する」や標語の「飛び出すな車は急に止まれな」いは俳句と同じ形です。「飛び出すな」は、小林一茶の「やれ打つな蠅が手をすり足をする」とちよつと似ています。

和歌(あるいは短歌)というジャンルは、五・七・五・七・七の三十一音です。川柳、短歌、俳句を総称して「短詩型文学」などとよぶことがあります。同じ短詩型でも短歌は長い。俳句と比べると、短歌の長さがよくわかります。

神にませばまこと美はし那智の滝 高浜虚子

冬山の青岸渡寺の庭にいでて風にかたむく那智の滝みゆ 佐藤佐太郎

両方とも那智の滝を詠った作です。虚子の俳句は、那智の滝は古来「神体として崇められてきただけあつてじつに美しい、というのです。俳句はあつけないものです。

それに対し佐太郎の短歌は、作者がどこから見ているか(「冬山の青岸渡寺の庭」)、滝がどんな様子か(「風にかたむく」といったことが詠み込まれています。

私は、短歌がバクテリアなら俳句はウイルスだと思えます。バクテリアは小さくても一個の細胞の体をなしている。一方、ウイルスは細胞未満の切れつ端のようなもの。

俳句という詩の基本的な性質は、物事をまともに説明できないほど、極端に短い詩形である、という点にあります。(続く)

寮友会より

登戸学寮卒業生の皆さんにおかれましては、寮友会活動に変わらぬご支援ご協力をいただき、本紙をお借りして厚く感謝を申し上げます。

寮友会の活動年度は、十一月から十月まで一年間であり、前年度を終えた昨年十一月二六日、登戸学寮にて総会を実施いたしました。

当日の議事録は、つい先頃発行された『方舟』五七号に掲載してありますので、関心のある方は是非ご覧いただきたいと思えます。

新年度の役員編成に関しましては、会長は私(蟹江雅彦)、副会長は櫛田俊明さん、会計は古角隆さん、執行役幹事は金井守さん、北村寛さん、副島浩さん、堤和通さん、古角修さんの五名。監査は岸本尚毅さ

んと副島茂さんの二名となりました。

会則によって役員任期は二年と定められていますので、これからの二年間は役員体制で寮友会業務を進めることになりましたので、よろしくご協力をお願いいたします。

さて、寮友会活動とは具体的にどんなことに取り組みかに関して、総会で以下の方針が決定しましたのでお知らせします。

- ① 寮友会総会を十一月に開催します。
- ② 『登戸学寮ニュース』の発行タイミングに合わせ、寮友会関連記事の提供し、紙面の充実に協力します。また、卒業生への郵送業務のお手伝いを行います。
- ③ 『寮友会ホームページ』にて、

タイムリーな情報提供を継続し、コンテンツの充実に努めます。

④ 『寮友会会員名簿』の整備と充実を促進させます。

⑤ 登戸学寮PRツールを活用して、新寮生勧誘活動を活性化し、空室問題解決に貢献します。

⑥ 会員から公益財団法人登戸学寮への寄付額アップに貢献します。

⑦ 『方舟』五八号の制作を支援します。

⑧ 会員同士および寮生との交流を促進します。

⑨ 卒業生キャリア情報制度の登録者拡大に努め、この制度の定着化を図ります。

このような方針で寮友会活動に取り組みますが、本年より登戸学寮開寮六〇周年記念事業が始まります。

中でも、寮の施設改良や現役寮生支援などを目的とした六

〇周年記念募金活動が動き出すと聞いております。

寮友会としても、この記念事業が成功できるように全面的

■ 私たちは同県人です ■

今回は愛知県、岐阜県、奈良県在住者の卒業生の方をお届けします。現住所の上の数字は入寮年次です。

✿愛知県(六名)

- 鈴木雅晴さん
一九五九年、田原市
- 野村俊一さん
一九六〇年、名古屋南区
- 後藤莞爾さん
一九六三年、名古屋市名東区
- 山本道郎さん
一九八一年、名古屋市昭和区
- 菅沼遼太さん
二〇〇四年、日進市
- 日比野定志さん
一九六六年、北名古屋市

な支援に取り組みたいと考えていますので、会員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

✿岐阜県(二名)

- 小池敦さん
一九八三年、中津川市
- 小野哲さん
一九七八年、中津川市

✿奈良県(三名)

- 大方聡さん
一九七一年入寮、奈良市
- 守屋光寿さん
一九五八年入寮、奈良市
- 八木俊一さん
一九八七年入寮、奈良市

同期生消息

(一九六九年入寮)

本号は、登戸学寮の十二期生の方々の消息をお伝えします。

◎奥田信夫さん

三重県伊賀市在住

◎辰巳俊一さん

三重県四日市市在住

◎笠井寛さん

埼玉県久喜市在住

◎石丸勝さん

山口県防府市在住

◎白崎康さん

山形県山形市在住

◎中島耕三さん

広島県大竹市在住

◎浅見博さん

東京都豊島区在住

◎水谷保男さん

長野県松本市在住

◎林忠光氏

長野県長野市在住

◎青木幹夫さん

高知県高知市在住

◎植田哲一さん

高知県高知市在住

●入寮年時寮長 村井長正先生

これらのデータは、全て寮友会名簿に基づいておりますが、必ずしも事実が正確に記されているわけではありませぬので、間違いを見つけた方は、寮友会会長にご一報をお願いします。

●一九六九(昭和43)年の主な出来事

一月二五日 全日空トライスタ
ー機の購入を決定。



一月二八日 東京大学安田講堂
で学生と機動隊が衝突。



一月二〇日 アメリカ合衆国で
ニクソン大統領が就任。
五月頃 好景気が持続し「いざ
なぎ景気」と呼ばれる。

五月二六日 東名自動車道路が
全線開通。



六月一〇日 昭和四三年の国民
総生産(GNP)が世界二位
になったと発表。

七月二〇日 米宇宙船アポロ十
一号が月面着陸に成功。



八月二七日 松竹映画、寅さん
シリーズ第一作「男はつらい
よ」を公開。



一〇月四日 TBSテレビ、ザ・
ドリフターズの「八時だよ、
全員集合」放送開始。



一一月一九日 訪米中の佐藤栄
作首相がニクソン大統領と
会談し沖繩返還が決定。
(蟹江雅彦)

卒業生アンケート 集計結果報告

卒業生の皆さまにおかれましては、ご多忙中にもかかわらず「卒業生アンケート」にご協力いただき大変ありがとうございました。おかげさまで、一〇一名の皆さまのご回答を得ることができました。紙面の関係上、すべてを報告することはできませんが、集計結果の一部を報告いたします。

【調査期間】
二〇一六年八月二二日～九月二三日

【調査対象】
登戸学寮卒業生（連絡の取れる全卒業生約三〇〇名）

【回答状況】
回答者数一〇一名（紙回答二七名、ネット回答七四名）うちOB 八七名、OG 一四名。

◆基本項目

【現在の年齢】

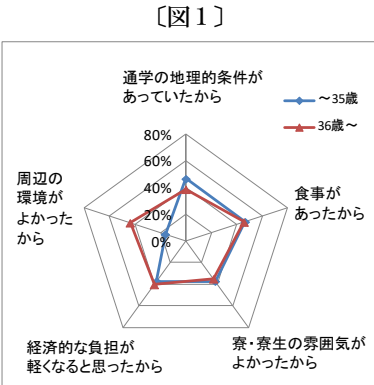
▽二〇代 三六名、▽三〇代 九名、▽四〇代 四名、▽五〇代 八名、▽六〇代 一八名、七〇代 二五名、▽不明 一名

【入寮期間】

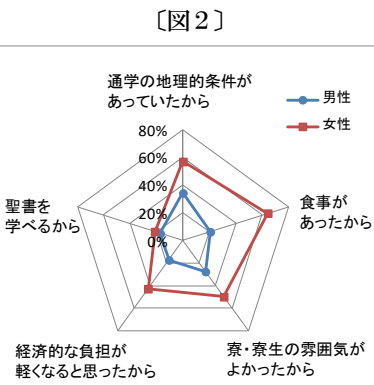
▽一年未満 五名、▽一～二年 二七名、▽二～三年 一二名、▽三～四年 三九名、▽四年以上 一八名

◆入寮の決め手となったことは何ですか？（複数回答）

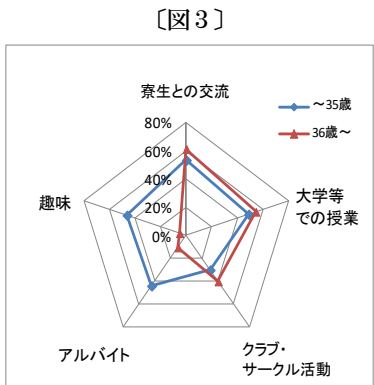
回答が多かったのは、「通学の地理的条件があつて良かったから」



※ 全体（35歳以下43名、36歳以上57名）、上図は回答上位5項目



※ 35歳以下（男性29名、女性14名）、上図は回答上位5項目



※ 全体（35歳以下43名、36歳以上57名）、上図は回答上位5項目

ら」、「食事があつたから」、「寮・寮生の雰囲気がよかつたから」、「経済的な負担が軽くなつたから」であった。三六歳以上OBの四四％が「周辺環境がよかつたから」と回答したのに対し、三五歳以下のOB・OGはわずか一六％であった〔図1〕。

【入寮期間】

三五歳以下のみでは、「聖書を学べるから」という回答が五番目に多かつた。男女別でみると、「食事があつたから」（OB 三三％、OG 六四％）という回答で大きく差がでた。全体的にOBよりOGの方が入寮の決め手が複数あつたことが

分かる〔図2〕。

◆学生時代に力を注いだ活動は何ですか？（複数回答）

回答が多かつたのは、「寮生との交流」、「大学等での授業」、「クラブ・サークル活動」であった。「アルバイト」と「趣味」については、三五歳以下のOB・OGと三六歳以上のOBとで差があつた〔図3〕。

◆学生時代に何らかのアルバイトをしていましたか？

「はい」と回答した三五歳以下のOB・OGは九一％で、その割合は三六歳以上のOB（七五％）に比べやや高かつた。

◆在学中に何らかの奨学金（給付・貸与）や授業料免除を受けていましたか？

「はい」と回答した三五歳以下のOB・OGは五八％で、その割合は三六歳以上のOB（三九％）に比べやや高かつた。

「はい」と回答した三五歳以下のOB・OGのうち、日本学生支援機構（旧日本育英会）の無利子奨学金の受給者は四四％で、有利子は五二％であつた。

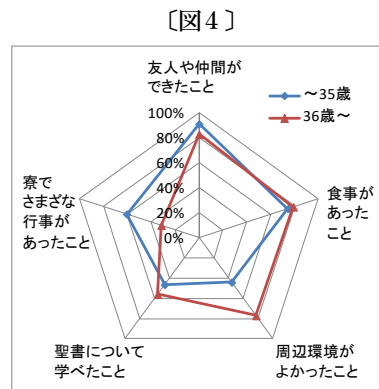
◆寮生活でよかつたことは何ですか？（複数回答）

回答が多かつたのは、「友人

や仲間ができたこと」「食事があったこと」であった。「周辺環境がよかったこと」と「寮でさまざまな行事があったこと」については、三五歳以下のOB・OGと三六歳以上のOBとで差があった〔図4〕。

◆寮生活で身についたものは何ですか？（複数回答）

回答が多かったのは、「共同生活におけるルール」、「協調性」等であった。三五歳以下のOB・OGは、三六歳以上のOBに比べ、寮生活で身についたものが複数あると感じている人



※ 全体 (35歳以下43名、36歳以上57名)、上図は回答上位5項目

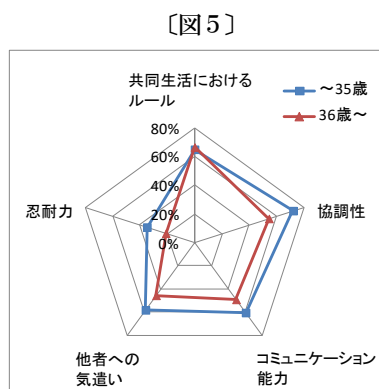
が多いことが分かる〔図5〕。

◆黒崎幸吉や登戸学寮の設立趣意についての理解は深まりましたか？

「非常に深まった」、「どちらかと言えば深まった」と回答した三六歳以上のOBは九五%で、三五歳以下のOB・OGは五八%であった〔図6〕。

◆寮生活の中で強く残る思い出は何ですか？（3つ選択）

回答が多かったのは、「寮生との交流」、「寮長との交流」であった。「寮周辺の景色・環境」



※ 全体 (35歳以下43名、36歳以上57名)、上図は回答上位5項目

「賄い職員や事務職員との交流」、「朝拝」に次いで多かったのは、「日曜礼拝」、「食事」、「寮の行事（入寮式、卒業式、成人式等）」であった〔図7〕。

◆フリーコメント（公表可）

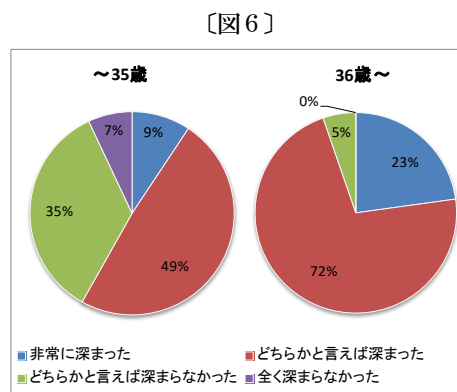
一部を紹介します

▽登戸学寮は実家よりも居心地が良かったです。（二〇代OB）

B）

▽「いつてらっしゅい」、「おかえり」が飛び交う環境ほど幸せな寮生活はないと思います。（二〇代OB）

▽あの時期しか学べない、とて



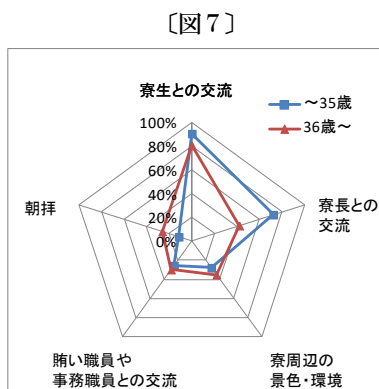
※ 全体 (35歳以下43名、36歳以上57名)

も貴重で素晴らしい経験になりました。登戸学寮で出会った一つひとつのことに感謝しています。（二〇代OG）

▽楽しい寮生活が過ごせるようにサポート出来ることがあれば力になります！（三〇代OB）

B）

▽信仰に生きているとまではとても言えませんし、学生時代には反発を感じた部分もありました。しかし卒業してから、大切な価値観を学んだ貴重な時を過ごすことができた、つくづく思っています。本当に感謝しています。（五〇代OB）



※ 全体 (35歳以下43名、36歳以上57名)、上図は回答上位5項目

▽大学学部を越えた学生の共同生活は私の視野を広げてくれた。感謝です。（六〇代OB）

▽良き師や良き友人を与えられ、私の人生にとって無くてはならない存在です。（七〇代OB）

B）

▽若い時、自分にこもりがちな自分の性格が、共同生活を通して崩されていき、少しずつ社会性を得たように思います。傘寿を迎えた今日も当時の寮生と親交が続いています。（七〇代OB）

（織田千尋）

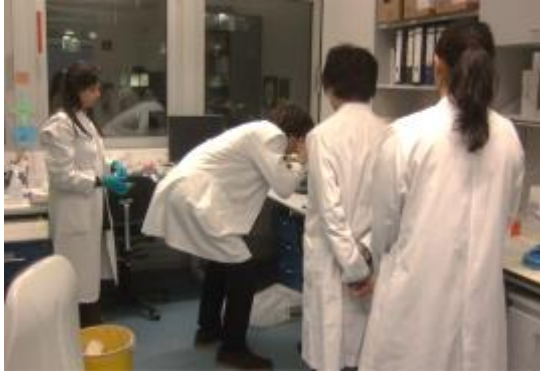
ご案内

来る六月四日(日)午後二時より、今井館聖書講堂にて、黒崎幸吉記念キリスト教講演会を企画しています。

今年度の講演は、二〇一六年度に寮生活動支援を利用してドイツ研修旅行を実施した寮生たちによる成果披露の場となる予定です。皆様のお越しを心よりお待ちしております。



フランクフルト、レーマー広場にて



ハイデルベルク、生物学研究室にて



ハイデルベルクのタベ



ウルムの街角にて



アインシュタインのモニュメント前



ハイデルベルク、大学講堂にて

教文館より、拙訳『旧約聖書の釈義―本文の読み方から説教まで』(ダグラス・スチュワート著)が近刊の予定です。

また、日本基督教団出版局で一九八六年に刊行が始まった『現代聖書注解』シリーズ全四四巻の最終巻を飾るJ・C・マッカーン著『士師記』も、拙訳で今夏には出版の見込みです。ご高覧いただけましたら幸いです。

(山吉智久)

